

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第183号

令和3年3月31日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

令和2年度 理事会・総会報告

2月26日(金)理事会、3月5日(金)総会は、緊急事態宣言の延長により、2年連続で書面での会議に変更となりました。理事会では資料の誤記載等をご指摘いただき、修正した資料を総会資料として送付いたしました。総会でいただいたご質問の回答をご連絡し、過半数の会員から承認をいただきました。

協議会会員のみなさまも感染症拡大・緊急事態宣言の影響で多忙な中、資料の確認等をしていただき、ありがとうございました。

なお、総会と同日に予定していた科学講演会も中止となりましたが、昨年度依頼していた日本火山学期の講師の方に、令和3年度の開催の際にご協力をいただける内諾をいただいております。

感染症の影響で令和3年度の詳細な事業計画が立てられない状況ではありますが、これまでどおり皆様の協力で、子ども達に様々な科学体験活動の場を提供できるように努めてまいります。

緊急事態宣言が解除され、久しぶりに子どもたちの笑顔を見ることができましたので、ご報告します。

高校生実験・実習講座

3月27日(土)に高校生実験・実習講座「透明標本を作ろう」を開催しました。当初は2月13日(土)に定員16人で開催予定でしたが、年度末に延期したため都合がつかない方もいて、8人の参加となりました。

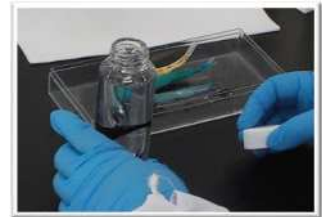
小さいキビナゴから内臓などを取り出し、各種試薬でたんぱく質分解や骨格の染色などをする処理は、細かい作業ばかりで、感染症対策を意識せずとも黙々と行っていました。



10cm 弱位のキビナゴを使用しました



使用した各種試薬
やっと完成→



プチロボで競走しよう厚木大会

3月28日(日)にやっと、プチロボで競走しよう厚木大会を開催しました。1月10日小田原大会、2月7日横須賀大会が中止になり、2月23日の厚木大会を3月21日に延期したのですが、緊急事態宣言延長により再延期して、やっとの開催でした。なかには希望していた小田原大会、横須賀大会が中止になったため厚木に申し込まれた方もおり、開催できて安堵したと同時に9人の参加者の笑顔・白熱した競走が嬉しい大会でした。



事務局から

今年の事務局(青少年センター科学部)は、4月の緊急事態宣言により8月末迄の講座等がすべて中止になりました。9月以後は大人数の講座・イベント中止や、参加人数制限などをしながら講座を再開しましたが、1月の緊急事態宣言再発出で、再び講座は中止・延期となりました。協議会会員の協力で、例年多くの参加者がある科学の祭典・ロボフェスタ・中高生サイエンスキャリアプログラムが中止、子どもサイエンスフェスティバル・子ども科学探検隊は一部のみ少人数での開催となりました。令和3年度こそは、子どもたちに科学体験活動の機会をたくさん提供できるように祈るとともに、引き続きみなさまのご協力をお願いいたします。(事務局：千葉、秋田谷、山田、齋藤)

